姶良市 じまんばな誌 ❶ 北山上自治会 れんげの里プロジェクト

夏は柱松が夜空を染め、春はれんげが満開、すんくじらの里山が輝き、人の交流も盛んに。

姶良のすんくじらを起こす

「すんくじら」クジラの新種ではありません。鹿児島弁で隅っこのことを、すんくじらと言います。人口8万人に届こうかという姶良市のすんくじら 北山上地区（木場・堂山・山花）。車で行けば姶良の市庁舎から30分とかからないのに人家がチラリ、ホラリ。

コンビニない、信号ない、自販機ない、何にもないけど田んぼがある！「なんとか、せにゃあ」堂山で生まれ育った姶良市観光協会会長の柳鶴さんが立ち上がったのが平成27年。

当時、観光協会で顔見知りだった渡辺さんをたきつけて（というより、だまくらかして）堂山へ誘いました。「いきなり連れて行かれましてね。外灯がなく真っ暗闇で、ゴツンと何かにぶつかったんです。こんばんはと挨拶したんですが…よ～く見ると、シカでした」と冗談のような話が。どんどん過疎化が進むふるさとを何とか自慢できる場所にしようと、二人で集落の人たちと現状の問題点など話し合いましたが、最初はみんなけげんな顔。腰を上げてくれるには時間がかかると悟り通い詰めました。

燃え上がるハシタマツの炎のように

北山上地区には、お盆の行事である柱松があります。迎え火や送り火を焚くのですが、山から切り出した長さ7～8mの竹柱の上に、ワラなどを入れた竹かごを載せ、そこに火の付いた赤松を投げ入れるのです。近年は4～5人で細々と続けていましたが、北山上自治会では平成28年からハシタマツ実行委員会をつくり、出身者の名簿を集めて大々的に呼びかけたら100人ほど集まってくれました。ハシタマツの炎のように火が付き始めた地域の人々の活気をさらに盛り上げようと、10月に収穫祭である火の神祭りを開いたところ、なんと300人余りがすんくじらへやって来ました。お客様は、地域でとれた新米のおむすびをうまいうまいと言って頬張ってくれたんです。

ここらあたりから、集落の人たちもなんとなく、手応えを感じてくれるようになり、翌年の春へ向けて『れんげの里プロジェクト』を立ち上げました。資金が必要なので県の助成金事業に応募したところ採択となり、里山をれんげで彩るために旧堂山小学校周辺の田んぼ約15ヘクタールに種をまきました。れんげの花が咲く春までに、草ボウボウの空き地を整備し駐車場にしました。通りがかりのみすぼらしい廃墟はみんなで撤去しました。橋がないと不便な所には橋を架けました。そして…

まだまだ続く魅力発信！

見渡す限り紅紫のれんげで埋め尽くされた田んぼで「れんげまつり」を開催。「エ～ッ！」「たまがった！」私たち以上に集落のみんなが驚きました。40数戸で80人ほどが暮らすすんくじらに、なんと1300人もの人がやって来たのです。一面咲き誇るれんげ畑を走りまわり、花を摘んでは首飾りを作る子どもたち。ゆっくり里山の春を満喫する中年のご夫婦…この日のために地域の人が丹精込めて作った北山上の「れんげ米」も買っていただきました。親・子・孫という三世代でお見えになったご家族、東京からの機内誌でれんげのことを知ってふらっと立ち寄ったという40代の方など様々です。でも、口をついて出てくる言葉は〝ほっとするね〟〝ブア～ッと落ち着くなあ〟といった、心が求めていた場所でくつろぐ喜びなんです。

なによりも、すんくじらの人々の心がひとつになりました。「あんなにたくさん人が来て、正直なにごとかと思ったわ。でも、楽しかったね」とれんげ畑の近くで暮らすおばあちゃん。

NHKテレビの『ニッポン印象派』という番組でも「れんげ草」というタイトルで作品化され、総合テレビやBS4Kで映像が流れました。おかげで、「何もないと思っていたふるさとが、自慢のふるさとになった」と言われるようになりました。次回へ向けて準備は着々と進んでいます。そして、すんくじらの人たちの魅力発信は、まだまだ続きます。

北山のうまかモン

黄金北山筍

竹の産地である北山では、自然の恵みを一年中味わって欲しいという思いと地域活性化のために、地元の皆さんで筍を掘り、あく抜きしたものを水煮として販売しています。煮物料理などに重宝し、姶良市のふるさと納税返礼品としても人気です。

北山いちご

北山の地域活性化になればと、真剣にいちごと向き合い取り組んでいます。

3品種（ぴかいちご・さがほのか・紅ほっぺ）特に新しい品種「ぴかいちご」は人気で、すぐ売れてしまうそうです。それぞれに特長があって美味しい苺。

れんげ米

昔から伝わるれんげ農法で栽培されたお米をれんげ米といいます。れんげ農法は、苗を植える前にれんげ畑を作って、空気中の窒素を土壌に固定して、それを有機肥料として利用するものです。

語り手 柳鶴 勉さん 渡辺 秀文さん

柳鶴さんは堂山集落の生まれ。過疎化が進むふるさとをなんとかしなければと一念発起して地域おこしに取り組んだ。姶良市観光協会の渡辺さんを巻き込んで何度も何度も現地に足を運んだ。その熱い想いが受け入れられ、花が一つ一つと咲き始めている。

詳しい地図へ QRコード➡